



内閣府

記者発表資料  
発表後の取扱自由

平成30年12月18日  
～美ら島の未来を拓く～  
沖縄総合事務局

## 首里城公園（御内原エリア等）の開園記念式典について 平成31年1月27日（日）に開催！

平成31年2月1日からの首里城公園（御内原エリア等）の開園に先がけて、

平成31年1月27日（日）に「首里城公園（御内原エリア等）開園記念式典」を開催しますので、お知らせします。

### 《開園記念式典》

○日 時：平成31年1月27日（日） 14時～

○場 所：首里城公園 後之御庭

※詳細につきましては、1月下旬頃発表致します。

### 【参考】（新規開園概要）

○開園エリア：御内原エリア、東のアザナエリア等

○開園面積：1.1ha

○主な施設：「世誇殿」、「後之御庭」、「東のアザナ」等

（詳細は別添「首里城公園（御内原エリア等）の開園について」を参照）

※なお、開園を記念して、平成31年1月28日（月）～31日（木）までの4日間、  
新規開園エリアの有料区域を無料開放する予定です。

### 【問い合わせ先】

内閣府 沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所

担当：総務課長 佐和田 俊（内線211）、総務係長 島田 ちあき（内線212）

電話：0980-48-3140（代表）

(別添)

## 首里城公園(御内原エリア等)の開園について

### 1. 首里城公園及び新規開園の概要

首里城公園は、昭和 61 年度に公園計画区域のうち、城郭内約4ha を沖縄復帰を記念する国の都市公園整備事業(国営沖縄記念公園首里城地区)で復元整備することが閣議決定され、国が事業に着手しました。平成 4 年に正殿等を含む区域を一部開園し、この度、新たに御内原(おうちばら)エリア、東(あがり)のアザナエリア、南城郭エリア、繼世門・美福門エリア、書院・二階殿(にかいでん)エリア(一部既に開園済み)から構成される公園東部の面積約 1.1haの区域を開園する予定です。

現在、首里城公園は、年間約280万人が訪れる沖縄観光の重要な拠点であり、今回の新規開園により、更なる沖縄観光への貢献につとめてまいります。

位置: 沖縄県那覇市首里当蔵町



## 2. 主な新規開園エリア

### ①御内原(おうちばら)エリア

本エリアは、「御内原(おうちばら)」と呼ばれる正殿の裏側に当たる一帯であり、国王・王族やそれに仕える多くの女官たちが生活する私的な空間として活用されていた場所です。平常は王女の居室として使われ、国王が死去した際に世子の即位の儀式を行う場所である世誇殿(よほこりでん)や、式典の場所である後之御庭(くしのうなー)等があります。



世誇殿



後之御庭

### ②東(あがり)のアザナエリア

本エリアは、城郭の東側に築かれた場内で最も高い物見台である東のアザナを中心とした場所であり、正殿の西に沈む美しい夕陽を楽しむことができる場所です。また、宝物を保管していた金蔵跡(かなぐらあと)や、国王が死去した際にその靈柩を安置していた寝廟殿跡(しんびょうでんあと)等があります。



正殿の西に沈む夕日（東のアザナから那覇港方面）